

安全データシート(SDS)

1.【製造者情報】

会社名 三喜工業株式会社
住所 千葉県千葉市中央区今井 1-4-16
担当部門 技術部
電話番号 043-262-8100
FAX 番号 043-263-2638
緊急連絡先 043-262-8100

作成 平成 28 年 7 月 01 日
改定 平成 29 年 7 月 18 日

整理番号 E-KT-1

製品名 : PK-203・204 ガラスシールリボン

2.【危険有害性の要約】

GHS分類

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2 皮膚刺激性
眼に対する重篤な損傷性
又は眼刺激性 : 区分2B 眼刺激性
特定標的臓器毒性(単回暴露) : 区分3 (気道刺激性)呼吸器への刺激の恐れ
※上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素

※ガラス長繊維は成形品です。事業者向け GHS 分類ガイダンス(平成 21 年 3 月経済産業省)では成形品は GHS の適用範囲外ですので、製品ラベルの絵表示は行っておりません。



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 皮膚刺激、眼刺激、呼吸器(気道)への刺激の恐れ
注意書き

- 1)ガラス繊維に触れると皮膚、眼、喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こすことがある。
 - ・襟のついた長袖のゆったりした衣服(手首、足首の締まっているもの)、保護手袋、保護眼鏡及び防塵マスク(国家検定品)等を着用すること。
 - ・切断した場合の屑は、速やかに袋に入れるなど粉塵の飛散に注意する。
 - ・取扱後はガラス繊維に触れた手などを石鹸を用いて温水で洗い、うがいを励行すること。
 - ・作業に用いた衣類は、他の衣類などとは別に洗濯する。
 - ・かゆみ、痛みが続くときには医師の診療を受けること。
- 2)ガラス繊維の表面に付着している収束剤や表面処理剤は一般には可燃性です。特に羽毛状、綿状になったガラス繊維は火種があると容易に着火します。
 - ・取扱場所や排気ダクトなどの羽毛状、線状のガラス繊維は除去すること。
 - ・グラインダーや溶接(断)機などを使う前には、機械周辺の羽毛状、綿状のガラス繊維を十分に除去すること。

3.【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区分 : 収束剤及び結合剤を含む単一製品

化学名	一般名	含有量 Wt.%	CAS No.
アルミナ硼珪酸ガラス	E-ガラス(*1)	≥98	65997-17-3 (*1 別紙 1 参照)

—	収束剤	<2	—
---	-----	----	---

危険有害性の原因となる成分 : 情報なし

ガラスは化審法における官報公示整理番号及びPRTR法・安衛法における制令番号に該当する化学物質ではありません。

4.【応急措置】

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。清浄な水で10回うがいをする。また、軽く鼻をかむ。もし、鼻や喉にかゆみや痛みなどの異常が残るようであれば医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 絶対にこすらないこと。最初、多量の流水で洗い、次いで温水で石鹸を用いて洗う。入浴はガラス繊維を除去するのに効果があります。汚染された衣服は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。皮膚にかゆみや痛みなどの異常が残るようであれば、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	: 絶対にこすらないこと。清浄な水で最低15分間、注意深く流し洗いをする。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外し、その後も洗浄を続ける。もし、眼の刺激が継続するようであれば医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 水で良く口を洗う。必要に応じて医師の診断を受けること。

5.【火災時の措置】

消火剤	: ガラス繊維自体は、水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、粉末消火剤のいずれも有効です。但し、まわりの状況(発火原因など)によって適切な消火剤を選定する。
消化方法	: 風上より消火活動を行う。
その他の情報	: ガラス繊維自体は不燃性ですが、繊維上に加工した収束剤や表面処理剤は一般に可燃性です。燃焼時には通常発生するCO、CO ₂ 、H ₂ O以外の危険有害な燃焼副生成物はほとんど発生しません。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意事項	
保護具及び緊急措置	: 必要に応じて、保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用する。
環境に対する注意事項	: 特になし。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 床面などにこぼれた場合は、速やかに粉じんが飛散しないように静かに清掃し、空容器や袋等に詰め一般的な産業廃棄物と同様の扱いをする。

7.【取扱い及び保管上の注意】

取扱い	: 出来る限り、吸い込んだり、眼や皮膚に触れないようにする。必要に応じて手袋、保護眼鏡(ゴーグルタイプが望ましい)、防じんマスク(国家検定品: 取り換え式・使い捨て式)を使う。ガラス繊維は、静電気を帯びる性質があります。静電気による電子部品の破壊や爆発、引火の原因となることも考えられるので必要な処置を講じること。
保管	: 製品は、直接日光が当たらない、高温多湿を避けた屋内に保管する。

8.【暴露防止及び保護措置】

管理濃度	: 粉じん障害防止規則 : 3.0mg/m ³
許容濃度	: 日本産業衛生学会勧告値(2011年度版): 2mg/m ³ (吸入性粉じん) 8mg/m ³ (総粉じん)
	: OSHA: 15 mg/m ³ TWA(total dust)、5 mg/m ³ TWA(respirable dust)
	: ACGIH: 1fiber/cm ³ TWA(respirable fraction)

設備対策	: 粉じんを発生する切断、研磨等の産業、ミルドファイバー等の粉体上の製品の取り扱い作業などを行う場所には、局所排気装置を設置すること。(設置が困難な場所でこれらの作業を行う場合には、防じんマスク(国家検定品)を着用すること)。また、洗顔・洗身・うがい・更衣・洗濯設備等の設置も望ましい。
保護具	: 作業環境を考慮し、必要に応じて、次の保護具を使用すること。
呼吸用保護具	: 防じんマスク(国家検定品: 取り換え式・使い捨て式)
手の保護具	: 皮手袋等ガラス繊維を通しにくい材質の手袋
目の保護具	: 保護眼鏡(ゴーグルタイプ)
皮膚及び身体の保護具	: 上衣: 襟付き長袖(手首の締まった)ゆったりしたもの 下衣: 長ズボン(足首の締まったもの)

9.【物理的及び化学的性質】

外観	: ガラス繊維集合体
色	: 白色
臭気	: 無臭
融点(°C)	: (軟化点)約 840
比重	: 約 2.6(塊状)
溶解性(水)	: 溶けない

10.【安定性及び反応性】

安定性	: 通常の状態において安定。
-----	----------------

11.【有害性情報】

急性毒性	: 分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	: 区分2。職業ばく露で機械的刺激により、強い搔痒と刺激を生じた。これらの機械的刺激は一時的であり、5 μ m 以上の繊維と関連がある。また、職業ばく露で刺激性の皮膚炎も生じている。4-13 μ m 径の長繊維(表面処理剤なし)を用いたヒト皮膚に対するパッチテストでは認められなかった。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	: 区分 2B。職業ばく露で機械的刺激性が認められている。この機械的刺激は一時的であり、5 μ m 以上の繊維と関連がある。(ACGIH(2001)、ATSDR(2004))。
呼吸器感作性または皮膚感作性	: 分類できない。
生殖細胞変異原性	: 分類できない。
発がん性	: 区分外。IARC でグループ 3(ヒトに対する発ガン性に分類されない)、ACGIH で A4(人に対し発ガン性物質として分類できない物質)に分類されている。
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分3(気道刺激性)。職業ばく露で一時的な気道刺激性が認められているが、ばく露がなくなると消失する。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない。ガラス長繊維は吸入の可能性がなく、また労働者の疫学調査においても健康への有意な悪影響は認められていないとの情報がある。
吸引力呼吸器有害性	: 分類できない。

12.【環境影響情報】

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし

土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13.【廃棄上の注意】

廃棄の方法は一般的な産業廃棄物と同様に取り扱う。
その他関係法令の定めるところに従い廃棄処理を行う。

14.【輸送上の注意】

輸送上の注意は特になし。
国連分類及び国連番号には該当しない。

15.【適用法令】

危険有害性分類基準の対象法令に該当しません。
関係法令には次のものがあります。

1) SDS 発行の義務に関して。

* 労働安全衛生法第 57 条の 2 第 1 項の政令で定める名称等を通知すべき危険物及び有害物として同法施行令別表第 9 第 314 号に「人造鉱物繊維」が掲げられているが下記通達で「第 314 号の「人造鉱物繊維」には、ガラス長繊維は含まれないものであること。」とされています。従って、SDS 発行の義務はありません。(「労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律の施行について」労働省労働基準局長 発第 162 号 平成 12 年 3 月 24 日)

2) 労働安全衛生に関して

* 粉じん障害防止規則別表 1 の第 6 号の鉱物(ガラス繊維)を裁断等をする場所において作業を行う場合には、労働安全衛生法施行令の規定に定められた「粉じん障害防止規則」が適用されます。ガラス繊維では遊離けい酸が 0% であるから、粉じん管理濃度は次式に従い $3.0\text{mg}/\text{m}^3$ となります。

$E=3.0/(1.19Q+1)$ (E: 管理濃度、Q: 粉じん中の遊離けい酸含有率(%)) (「作業環境評価基準の一部を改正する件等の施行等について」厚生労働省労働基準局長 基発 0331024 号 平成 21 年 3 月 31 日)

3) 化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)に関して

* 施工令別表第 1 の第 1 種指定化学物質に「ホウ素及びその化合物」があげられており、ガラス長繊維は、ガラスの構成物質として「ホウ素」を 1% 以上含有した「ガラス製品」ですが、通常のご使用範囲であれば、PRTR 法の届出の対象にはなりません。但し、お取り扱いの過程で、熔融、蒸発又は溶解等を伴う工程においては、当該化学物質の排出量、移動量の届出が必要となりますので、ご注意をお願い致します。

16.【その他の情報】

1) 参考文献

* 「許容濃度等の勧告」(2012)
産業衛生学会誌 54 巻 2012

* 「Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans Vol.81(2002)
“Man-made Vitreous Fibers”

International Agency for Research on Cancer(IARC:国際ガン研究機関)

* ACGIH (2001)

* ATSDR (2004)

* 「産業用ガラス長繊維のヒト皮膚に対するパッチテスト」

((社)日本毛髪科学協会委託試験報告書(平成 23 年 2 月 7 日毛髪研発第 2044 号(3))

2) 主要国の既存化学物質の登録状況

* 欧州商業用既存化学物質台帳(EINECS)

EINECS 番号 266-046-0

CAS 番号 65997-17-3

登録名称 Glass, oxide, chemicals

* 化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則(REACH)

ガラス長繊維は成形品のため登録対象ではありません。

* 米国有害物質規制法(TSCA)化学物質台帳

CAS 番号 65997-17-3
登録名称 Glass, oxide, chemicals

* 中国現有化学物質名録

CAS 番号 65997-17-3
登録名称 Glass, oxide, chemicals

* 韓国既存化学物質目録(KECI)

KECI 番号 KE-17630
CAS 番号 65997-17-3
登録名称 Glass, oxide, chemicals

- 3) 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。

別紙・1

< ガラス >

成 分	E ガラス組成(重量%)
SiO ₂	52～56
Al ₂ O ₃	12～16
CaO	16～25
MgO	0～6
B ₂ O ₃	5～10
R ₂ O(Na ₂ O+K ₂ O)	0～2
(Na ₂ O)	—
(K ₂ O)	—

注 1) 上記の成分は、ガラスの分野における技術的慣習として酸化物の組成式として表記していますが、E ガラス中に調剤の成分として混合されているのではなく、ガラスを構成する酸化物が不規則に結合しあって形成された格子の中に化学結合する形で存在しています。従って、これらは習慣表記した酸化物のものであり、ガラス中での各成分の状態を示すものではありません。

- 4) 「ガラス長繊維製品は、アーティクル(成形品)であり GHS 対象外ですが、GHS 対応の最新の SDS 様式、JIS Z 7253 に基づき作成しています。」

以上

安全データシート(SDS)

1.【製造者情報】

会社名 三喜工業株式会社
住所 千葉県千葉市中央区今井 1-4-16
担当部門 技術部
電話番号 043-262-8100
FAX番号 043-263-2638
緊急連絡先 043-262-8100

作成 平成 29 年 1 月 16 日
改定 平成 29 年 7 月 18 日

整理番号 E-KT-1

製品名 : PK-203・204 ガラスシールリボン用粘着テープ

2.【危険有害性の要約】

GHS分類 : 成型品なので該当なし。
物理化学的危険性 : 分類できない、又は分類対象外
健康に対する有害性
呼吸器感作性 : 製品としてデータなし。
皮膚感作性 : 製品としてデータなし。
発がん性 : 製品としてデータなし。
特定標的臓器/全身毒性
単回暴露 : 製品としてデータなし。
反復暴露 : 製品としてデータなし。
環境に対する有害性
水性環境慢性有害性 : 製品としてデータなし。

3.【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区分 : 混合物
粘着剤 : アクリル系粘着剤
基材 : セルロース(不織布)
剥離紙 : 紙、ポリエチレン、シリコーン

4.【応急措置】

吸入した場合 : 該当なし。
皮膚に付着した場合 : ゆっくり剥がす、皮膚に炎症を生じた時は医師の診断を受ける。
眼に入った場合 : 流水でよく洗う、必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 吐かせる、必要に応じて医師の診断を受ける。

5.【火災時の措置】

消火剤 : 水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素。
特有の危険有害性 : 火災によっては刺激性、毒性又は腐食性ガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消化する。

6.【漏出時の措置】

人体に対する注意 : 該当なし。
環境に対する注意 : 該当なし。

7.【取扱い及び保管上の注意】	
取扱い	
技術的対策	:なし。
注意事項	:鋭利な物などが一定の力で接触する場合はテープの変形や傷につながる。
接触回避	:製品としてデータなし。
保管	
技術的対策	:なし。
混触危険物質	:製品としてデータなし。
保管条件	:品質劣化防止のため直射日光、水漏れ、高温を避け冷暗所で保管する。
8.【暴露防止及び保護措置】	
	:該当なし。
9.【物理的及び化学的性質】	
形状	:剥離紙と共に紙芯にロール状に巻かれている、又はシート状になっている。
臭い	:特有の有機溶剤臭
揮発性	:なし
自然発火	:製品としてデータなし
可燃性	:あり
爆発性	:製品としてデータなし
溶解性	:水に不溶
10.【安定性及び反応性】	
安定性	:通常条件で安定
危険有害反応の可能性	:製品としてデータなし
避けるべき条件	:製品としてデータなし
混触危険物質	:製品としてデータなし
危険有害な分解生成物	:燃焼等によりCOやNO _x などの有毒ガスが発生する恐れがある。
11.【有害性情報】	
急性毒性	:製品としてデータなし
呼吸器感作性	:製品としてデータなし
皮膚感作性	:該当なし
皮膚腐食性・刺激性	:皮膚に接触すると炎症を起こす場合がある。
発がん性	:製品としてデータなし
生殖毒性	:製品としてデータなし
特定標的臓器/全身毒性	
単回暴露	:製品としてデータなし
反復暴露	:製品としてデータなし
12.【環境影響情報】	
残留性/分解性	:なし
水性環境急性有害性	:製品としてデータなし
水性環境慢性有害性	:製品としてデータなし
13.【廃棄上の注意】	
廃棄に当たってはその国、地方の関連法規制を遵守すること。	
残余廃棄物	:その国、地方の関連法規制を遵守すること。
汚染容器及び包装	:その国、地方の関連法規制を遵守すること。

14.【輸送上の注意】

水漏れや包装の損傷などに注意すること。

国内法規制 : 該当する法規制なし

15.【適用法令】

PRTR 法 : 対象物質は基準値以上含有しません。

消防法 : 3,000 kg以上の貯蔵の場合は指定可燃物に該当します。

16.【その他の情報】

特に記載すべき情報はありません。

※注意事項は通常の手扱いを対象にしたもので特殊な手扱いの場合にはお問い合わせ下さい。